

蒲郡若者議会

福祉委員会 政策立案シート



宮松 幸也



内窪 彩音



幾世 義弘



安藤かおり

メンター・協力

増山大祐、加藤雄、酒井伸豪、鈴木進也、市川千尋、渋谷実旺
吉田慶、神田高典、竹内啓祐、吉倉健二、今井美奈

蒲郡の現状

※数値など客観的データ

- ★蒲郡の65歳以上の人口割合29.62%(R3.4.1)
→全国平均28.8%(R2.10.1)より高齢化率が高い
- ★蒲郡市の空き家率15%
(愛知平均9.9%全国平均13.3%)

1

蒲郡の魅力

※テーマに関連した魅力を列挙

- ・健康増進のイベントが多い
(お散歩コースのパンフレット、健康カレンダー
ウォーキング、三河湾健康マラソン、
食育・体重100日記録等)
- ・自然豊かで住みやすい街
- ・温泉がある
- ・山と海に囲まれている

2

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	Strength(活かせる強み) ・地域の繋がりが強い ・お祭りが多い ・自然を活かしたヨット関係のイベントがある ・保健センターの活動が豊富 ・耕作放棄地などを含めた土地の利用ができる	Weakness(克服すべき弱み) ・デジタル対応の遅れ ・コミュニティの場の不足 ・人口の減少 ・公園の遊具不足 ・移住者が少ない ・若者の遊ぶ場所が少ない ・公民館の活用が一部の方のみ
外部環境	Opportunity(市場での機会) ・寿命が延びている ・民宿の流行 ・働き方改革 ・空き家の増加 ・インスタ等SNSのブーム・関心	Threat(回避すべき脅威) ・新型コロナウイルス感染症 ・少子高齢化 ・市外でのイベントが活発 ・ネット化によるインドア派増加 ・スマホによる健康被害

3

若者と高齢者のコミュニティが豊かで健康増進に優れたまち

4



解決すべき課題

※蒲郡市のどんな課題を解決させようとしているか？

1. 高齢者のコミュニティ問題
2. 若者に参加してもらう方法
3. 蒲郡市の空き家問題

蒲郡をどう変える？

若者と高齢者の交流による
活気のある街づくり

空き家を用いた
新しい地域活性化

市民をどう変える？

地域の人とコミュニケーションが
取れる環境を作ることで地域の人
と信頼関係の構築をする

5

強み・弱み

※メンバーの強み・弱み

医療や福祉に関係する仕事や
学校に通っており
専門的視野でも
考案することができる

6

ターゲット

※政策の対象者を具体的に

若者：幼児から20歳代まで
高齢者：65歳以上の介護認定を
受けていない方
(市内の介護認定者16%
→残りの84%がターゲット)

7



ガマホーム-若者と高齢者をつなぐ家-

8

政策の蒲郡に対する目的

地域活性化・
多世代交流の活性化・
新しい空き家活用法

11

政策の参加者に対する目的

若者：生涯学習ができる
高齢者：コミュニティの場の形成

12

実施の効果目標 ※参加者数、現状→目標の数値変化、アンケート調査など

空き家の継続的活用
→多世代交流の場の形成
→→**コミュニティの場の維持・周知・
家庭格差・孤独化を減らす**

13

政策の概要

★最終目標

区域（中学区域別）に1軒オリジナルの空き家「ガマホーム」を作る
日中はレクリエーション
（お絵描き・将棋・クイズ・トランプ・折り紙など）
若者と元気な高齢者が交流できることが狙い

スタートから自分たちで作り上げる（継続的活動）
（掃除や庭園作り、敷地内の装飾も自分たちで決めてOK）

地域の人なら誰でも参加してOK

- ・経営に興味がある若者へ依頼する→オーナー体験型運営
- ・ボランティアがシフト制で管理を行う

地域の人が自由に集まれる場所

→高齢者が子供の宿題を見てあげること
高齢者同士・子供同士でお喋りすること

★最終目標を達成するための政策

蒲郡市学校施設開放事業を活用

→小学校・中学校にて生涯学習を企画し、交流の場を作る
→将来的に必要性が見込まれた場合、ガマホームを検討する

事業タイトル： **若者による高齢者疑似体験**

事業の目的

- 参加者目線：
若者に当事者理解を持ってもらう
- 若者議会目線：
必要がある内容の政策に活かすため

11

事業の効果・実績

- ・ごりやく市導入者数の増加→参加者100名超
- ・政策に活かすアンケート結果を得る

12

実施内容（目的達成のための手段）

方法：

- ① 高齢者疑似体験装具を装着して日常生活の動きを体験
 コース1:立ち上がる→段差を越える→しゃがんでクイズを読む→段差を越える
 コース2:お助けアイテムあり（支えの机・いす）
 立ち上がる→段差を越える→クイズの答えを選ぶ→段差を越える
- ② アンケートを取る
- ③ 健康グッズがもらえるくじを引く

実施の効果目標：体験した後にアンケートを取る

- ・体験を通して、あなたが高齢者にしてあげられると感じたことは何か
- ・若者と高齢者が一緒に行える（参加したいと思える）イベントは何か



政策広報計画

※政策の宣伝方法を記載する

- ・開催地に看板を建てる
- ・Instagram
（若者議会公式アカウント）
- ・コンビニ・喫茶店・地域のお店
- ・市内の学校へ
「れんらくだより」の一環で紙媒体配布
- ・市内の公民館へポスター掲載

14

政策予算計画

※主要な費用項目を記載する

- ・空き家
賃貸平均3.4万円/月（敷金・礼金別）
購入平均1,144万円（敷金・礼金別）
- ・基本的な清掃・整備
約30万円
- ・ランニングコスト
約3万円/月
- ・レクリエーション備品
実施内容により異なる

15